



磐二小だより

磐梯町立磐梯第二小学校

令和6年5月7日

第2号

発行責任者 天野 圭

キラキラとひとみが輝く二小の子ども

見守り隊の皆様へ感謝

子どもたちの集合時や横断歩道を渡る際など、安全確保のために各地区でも見守り隊の方々が活躍されていることと思います。本校でも毎日見守り隊の方々が子どもたちの安全を見守ってくれています。

しかし本校の見守り隊の方々は、他の見守り隊の方々とは少し違います。それは次の通りです。

- (1) どの子に対しても、服装が乱れていないかしっかりと確認していただきます。
- (2) どの子に対しても、忘れ物がないかランドセルの中も確認していただきます。
- (3) どの子に対しても、温かい言葉かけて、あいさつしていただき、子どもがあいさつしないとあいさつするように助言していただきます。
- (4) 歩くのが遅い登校班があると学校まで一緒に歩いていただきます。

これほど手厚い見守り隊の方々にお会いしたことはありませんでした。

何より「どの子に対しても、我が子のように接する姿」に心が打たれました。

多様なハラスメントにより、互いの会話にも抵抗を感じる現在、「地域全体で子どもたちを育てる・子どもたちは地域の宝」という雰囲気を感じております。本当にありがとうございます。また、本校の自慢を見つけることができました。



第1回草集め大会

運動会までにきれいな校庭で活動したいという児童の願いがあり、縦割り班対抗「第1回草集め大会」が開催されました。どの班もバケツ2杯程度の草を集め、一生懸命に活動することができました。校庭もきれいになりましたが、一つの目標に向けて全員で取り組むという大切な活動でした。ありがとうございました。

本校の教職員研究について

児童の実態を考慮し、各学校においては1つや2つ程度の教科を研究するという校内教職員研究が行われています。

教職員の働き方改革と言われ、様々な内容が変更や縮小されることになりました。縮小された分、私たち教員に求められるのは、児童への質の高い授業の提供です。そのために、個人や学校全体で取り組む自己研さんの機会の確保、さらには児童と向き合う時間の確保など、今まで以上に力を入れなければならないでしょう。今年度から、昨年度までの国語科の研究を基に、学級活動（話し合い活動）を研究することにしました。その理由を簡単に説明いたします。

【児童の実態から】

- 明るく素直な児童が多い。
- 課された活動は責任をもって行う児童が多い。
- 異年齢・異学年との仲がよい。
- 受け身の姿勢が強く、さらによりよい学級・学校づくりへの意識が薄い。
- 自分たちで計画～実践～反省するという一連の活動のよさを味わった経験が少ない。
- 自分に自信がなく、自己肯定感が低い。



【目指す子どもの姿として】

少人数でありながらも

「互いのよさや個性、多様な考えを認め合い、一連の活動（課題の発見～解決方法の話し合い～決めたことの実践～振り返り）を通して、合意形成をはかったり、意思決定したりすることのできる児童」とし

児童自らが自発的・自治的な活動ができるように学級活動の話し合い活動に力を入れてまいります。

どの学校でも先生方が「子どもたち中心の活動にしたいね。」とか

「子どもたちが考えた行事を行いたいね。」という声を聞きます。

児童中心の活動や行事を願うのであれば、私たち教員が児童に対して、たくさんの情報を与え、選択させ、実践させ、称賛することにより満足感・達成感を感じることのできる児童を育成することが大切だと考えます。

何も与えないところから、自然発生的に自発的・自治的な活動は生まれません。

少人数で、時間もかかるかもしれませんが、本校の子どもたちはできると確信しています。



校長のひとり事

連休中、道の駅に立ち寄ると、動物を飼っている人が多いことに気付かされました。特に愛犬が多いと感じました。それを見て「食費がたいへんだらうな。」とか「他の人に噛みつかないのかな。」など心配してしまうのは、庶民的な私だからでしょうか。だれもが愛犬を車から下ろし、散歩をさせています。愛犬もとても嬉しく、楽しそうです。そして飼い主のほとんどが愛犬に引っ張られて行きます。大きな犬も小さな犬も一緒です。愛犬が行きたい場所に飼い主がついていく光景。

「これって、愛犬の散歩？ 愛犬が飼い主を散歩しているのかな？」と考えてしまうのは私だけでしょうか。昔、我が家でも大型犬を飼っていました。とても頭のよい犬で、待てと言うとよしと言うまで動きませんでした。自慢だったのは、常に飼い主の脇を歩いていました。そのために、だれかに危害を加える心配はありませんでした。もちろん小さいときにたくさんしつけたような気がします。

AIが進化を続ける現在、AI犬が人間を散歩する時代が来るのかもしれないね。